

伊都国歴史博物館冬季特別展の開催について—二丈岳発見の経筒初公開—

平成27年度 伊都国歴史博物館冬季特別展の開催について

1. 名称 伊都国歴史博物館・九州歴史資料館共同開催特別展（平成27年度冬季特別展）
「^{くにざかい}国境の山岳信仰—脊振山系の聖地・霊場を巡る—」

2. 会場 伊都国歴史博物館 企画展示室

3. 会期 平成28年1月30日（土）～3月13日（日）

4. 開催趣旨 福岡県と佐賀県の間で東西に長く横たわり、かつて筑前国と肥前国の国境でもあった脊振山系では、古来、山への信仰に基づく数多くの聖地・霊場が営まれてきた。脊振山の上宮東門寺跡、中宮霊仙寺跡をはじめとして、糸島でも、雷山・浮岳・二丈岳などにその名残が息づく。

本展では、脊振山系における古代からの山岳信仰の姿について、約60件（うち指定文化財20件、初公開資料約10件）の多様な文化財を展示し、現地調査により新たに明らかになった姿など最新の知見も交え紹介する。

5. 展示会の特徴

①伊都国歴史博物館と九州歴史資料館による共同企画開催

単館での展示と異なり、両館が持つ研究成果や情報を共有し、また相互の様々な展示ノウハウを活用することで展示手法など新鮮な博物館展示を提供する。

なお、今回のテーマ「脊振山系の山岳信仰」に関しては、九州歴史資料館が伊都国歴史博物館等の協力の下、3カ年に渡って行ってきた研究テーマであり、その成果を披露するものでもある。

②脊振山系の山岳信仰に関しては、これまでも個別の地域・テーマ・資料を取り上げたものはあったが、福岡・佐賀側を含め山系全体を包括的に取り上げた展示会は初めて。

③二丈岳経塚出土資料の初公開

新出文化財についての公開・発信により、関心の高まりや研究の進展が期待される。

6. 関連事業

(1) 関連講座「近世の背振山—九州大学附属図書館所蔵『背振山塚図』から—」（『伊都学』第7回）

期 日 2月11日（木・祝）14時～15時30分

講 師 服部英雄氏（九州大学名誉教授）

内 容 江戸時代の脊振山を描いた資料から、当時の国境争論を読み解く

(2) ミニシンポジウム「国境の山岳信仰—脊振山系の聖地・霊場を巡る—」（『伊都学』第8回）

期 日 3月6日（日）13時～16時

報告者 岡寺良氏（九州歴史資料館）・山本義孝氏（袋井市歴史文化館）・

吉田扶希子氏（西南学院大学）

内 容 本展の内容に即した個別報告とパネルディスカッションを通して、考古学・歴史学・民俗学など多方面から研究の現状と展望などを議論する

◆特別展事前内覧会（記者会向け）を実施します

・期 日 平成28年1月29日（金）15:00より

・場 所 伊都国歴史博物館 企画展示室

※開始時刻までに会場にお越しください。